

令和4年1月25日

報道関係者 各位

仲間たちを助けたい！
～トンガ王国支援にご協力を～

島原市は、過去に火山災害を被り、全国のたくさんの方々から支援をいただき、復興の道を歩んできた経験があります。ラグビーワールドカップ2019に際し、事前キャンプを行ったトンガチームの母国が、このたび噴火災害により、甚大な被害を受けています。

同じ災害を被った仲間たちを助けるために、私たちにできることで可能な限りの支援を行いたいと考えています。

なお、本件に関する市長コメントは、別紙のとおりです。

有明海にひらく湧水あふれる 火山と歴史の田園都市 島原

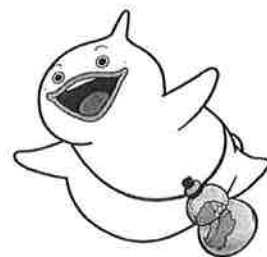


担当：島原市スポーツ課 生涯スポーツ班

担当 中島

電話：0957-68-5474

E-mail：sports@city.shimabara.lg.jp



島原守護神 しまばらん

仲間たちを助けたい！ ～トンガ王国支援にご協力を～

去る1月15日、トンガ沖の海底火山の大規模噴火と津波により、トンガでは、尊い命が犠牲となられたり、家屋やインフラにも甚大な被害が出たりしていると報道されています。

トンガは、ラグビーワールドカップ2019大会に出場した際は、島原市で事前キャンプを行っており、トンガチームからは子ども達へのラグビー教室による指導をはじめ、島原観光を通して市民皆様との交流を深めた縁の深い国であります。

また、大会期間中は、ホテルでのパブリックビューイングに多くの市民の皆様が応援に駆け付け、トンガ国歌を合唱したり、市民応援団を結成して熊本まで応援に行ったりと、トンガチームの活躍を市民一体となって応援してきました。

熊本会場では、欧州の強豪チームであるフランス戦で気迫あふれるプレーを披露され、惜敗したものの応援に駆け付けた皆様に、強い相手にも立ち向かう勇気と感動を与えたことも記憶に新しいところです。

そのような、私たち島原市民の仲間ともいえるメンバーの母国が、甚大な災害を被っており、被害の全容は明らかになっていないものの、厳しい日常を送っていることに変わりはありません。

島原市も、平成3年の雲仙・普賢岳噴火災害では、全国の多くの方々から支援していただき、復興を成し遂げた経験もあることから、トンガの皆様の苦難を思い、市民の皆様と共にトンガを少しでも支援するべく、行動を起こしたいと思います。

トンガラグビーチームへの感謝の気持ちを込めて、トンガの国民皆様への義援金の募金活動などの検討を進めています。また、島原市ラグビーフットボール協会やしまばら半島国際交流クラブもこの趣旨にご賛同いただいています。

具体的な取り組みはこれからですが、私たちにできることを、できる範囲で取り組みたいと考えています。トンガの仲間たちが、1日も早く日常の生活が取り戻せるように市民皆様のご協力をお願いします。

島原市長 古川 隆三郎